

# ANTARES DC HG

淡水専用

## 取扱説明書 SHIMANO

この度はシマノ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
本製品の機能を十分に引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存して下さるようお願い申し上げます。

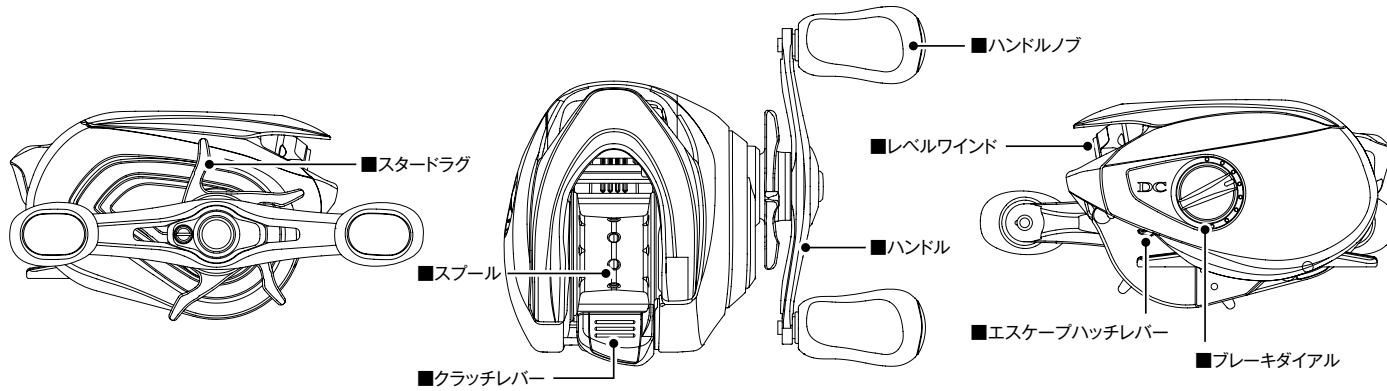
001

### 安全上・ご使用上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

注意	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれてけがをすることがあります。</li> <li>●ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをすることがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。</li> <li>●メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをすることがあります。</li> <li>●リールを砂地に直接置いたり、海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や泥水が入ると、思わぬトラブルの原因となります。</li> <li>●根掛かりした時は、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布きれを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。</li> <li>●リールはていねいに扱ってください。移動時、特に投げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。</li> <li>●キャストの時にはクラッチを切るのを忘れないでください。仕掛けが出て行かず、けがをすることがあります。</li> <li>●リールを釣り以外の目的で使用しないでください。</li> <li>●リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。</li> <li>●幼児の手の届くところには置かないでください。予期せぬ事故やけがにつながるおそれがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●回転しているスプールには触れないでください。けがをすることがあります。</li> </ul>

各部の名称 ※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。



### 仕様一覧

品番	ギア比	最大ドラグ力 (kg)	自重 (g)	糸巻量	最大巻上長 (cm/ハンドル1回転)	スプール寸法 (径mm/幅mm)	ベアリング数 (S A-RB/ローラー)	ハンドル長 (mm)
右	5.6	5.0	220	ナイロン (lb-m) 12-130, 14-110, 16-100	65	37/22	10/1	42
HG 右	7.4	5.0	220		86	37/22	10/1	42
左	5.6	5.0	220		65	37/22	10/1	42
HG 左	7.4	5.0	220		86	37/22	10/1	42

●標準付属品 取扱説明書・分解図・オイル・専用リール袋・脚裏保護シート・糸止めシール

※製品改良のため仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

### 4×8 デジタルコントロールブレーキの設定について ※ライトハンドルのイラストで説明しています。

スポーツフィッシングにおいて、シマノが永年こだわり続けてきた“キャストリング”。その“キャストリング”への飽くなき探究心が、夢のデジタルコントロールブレーキシステムを第七世代へと進化させました。NEW アンタレス DC では飛距離はもちろんのこと、キャストリングの気持ちよさまでも追及し、徹底的にブレーキプログラムを磨き上げました。

様々な状況で理想とされるブレーキパターンをラインの種類別に P (PE)、NM (ナイロンモノフィラメント)、FL (フロロカーボン) と、3つのブレーキモードを用意。さらに、これまでにない超ロングキャストを実現する特別なブレーキモードとして X (エクストリームロングキャストモード) を設定。それぞれ8つのボリュームが選択できるため内部調整4モード×外部調整8ボリュームの32パターンから最適なブレーキを選択できます。アンタレス DC に搭載された第七世代 DC ブレーキシステムは、熟練者から初心者までのさまざまなアングラーが、スポーツフィッシングの原点であるキャストリングの楽しさを大いに堪能できるに違いありません。

#### ■デジタルコントロールブレーキ調整ダイヤル

8段階の調節が可能です。MIN から MAX へとブレーキ力は強くなります。初めてご使用の際は MAX にセットして、様子を見ながらブレーキの効き方を覚えて行くことをおすすめします。

#### ■デジタルコントロールブレーキモードダイヤル

サイドプレートを開き、本体内部に搭載されたデジタルコントロールブレーキモードダイヤルが調整できます。下記の4パターンのブレーキモードの選択が可能です。

#### ■P、NM、FL モードについて

各ラインによって微妙に異なるセッティングが、モードを選ぶだけでベストセッティングになるよう調整されています。

それぞれのモードで、向かい風または飛行中に回転しやすい重心固定ミノ、ジョイントプラグなどはボリューム6～8を使用することでルアーの姿勢をしっかりと固定し、バックラッシュを低減させ驚異的な飛距離を生み出します。ボリューム3～6 は一般的なシャロークランクやバイブレーションプラグ、重心移動ミノやペンシルベイトなどに対応し、キャスト中盤以降をうまく補正して飛距離を伸ばします。ボリューム1～2 は空気抵抗の少ないバイブレーションプラグや追い風時の遠投に使用するセッティングで、恵まれた条件で最高の飛距離を叩き出す極めて弱いブレーキセッティングとなっています。P モードには伸びの少ない PE ライン独特の、急激に起こるバックラッシュを防ぐ特殊なブレーキが入っています。

#### ■X モードについて

追い風の恵まれた条件でキャロシンカー、ジグスピナー、メタルジグなどの金属系ルアーを超速投するための究極のロングディスタンスモード

キャスト直後、ブレーキの開始タイミングを1/1000秒単位でコントロールすることでバックラッシュするギリギリまでノーブレーキ状態を作り出し、最大回転数を可能な限り高めめます。さらに中盤以降をほとんどフリーにするブレーキ設定で、これまでにない飛距離を実現します。特に8～9フィート級のロングロッドでの遠投に最適ですが、十分な初速がない場合は使用困難なほど微弱なブレーキのため、どうしても使いにくいと感じられる場合は糸巻量を少しずつ減らして調整することをお勧めします。逆に6フィート未満ロッドの片手投げでは十分な初速が得られないため、メタルジグなどの金属系ルアー以外にはほとんど適していません。

### サービスのご案内

本リールは精密部品で構成されていますので、下記注意事項を守ってお取り扱いください。

#### ●ご使用上の注意

砂・泥・泥水はリールの大敵です。ご使用中、リールを砂地に直接置いたり、海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や泥水が入ると、思わぬトラブルの原因となることがあります。根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。リールはていねいに扱ってください。移動時、特に投げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。

#### ●お手入れの方法

各部分に付着したゴミ、砂などは、真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取って十分乾燥させてください。また、水に浸して洗ったりしないでください。特に、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。ドラグ部分には、絶対にオイルを付けしないでください。オイルが入ると、ドラグ力が低下することがあります。高温、高湿の状態では長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、上記のお手入れを実施後、風通しの良い場所で保存するようにしてください。ご自分で分解・修理をされる場合は、部品のエッジ等で手を切らないようご注意ください。

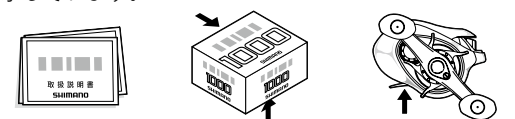
- 弊社純正部品以外の取り付けによる不具合は保障いたしかねます。
- 不具合が生じた場合はそのままの状態でお買い上げの販売店へお持ちになり、詳しい症状をお伝えいただき、修理をご依頼くださいますようお願いいたします。
- 修理に出される際には、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に（例/ストッパーが動かない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。
- ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧ください。製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。

例/製品名：ステラ 1000S 商品コード：02425  
製品コード：SD83B012 部品名：スプール 部品番号：2

- 弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性がございます。

#### ●商品コード/製品コードの位置

取扱説明書・分解図・パッケージ底面もしくは側面部に製品コードの上5ケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。





**使用方法・リールの準備**

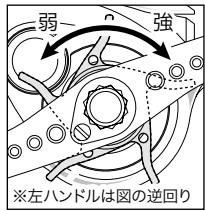
※説明書中のイラストは実際の製品と異なる場合がございます。

**■メカニカルブレーキノブ**

DC ブレーキを搭載したリールでは、メカニカルブレーキの設定方法が従来のブレーキシテムとは異なります。通常はスプールの軸方向にガタつかない程度にゆるめてお使いください。メカニカルブレーキを必要以上に締め付けると、DC システムが本来の性能を発揮できません。ただし、想定以上の強風条件などではメカニカルブレーキを締め付ける必要があります。

**■スタードラッグ**

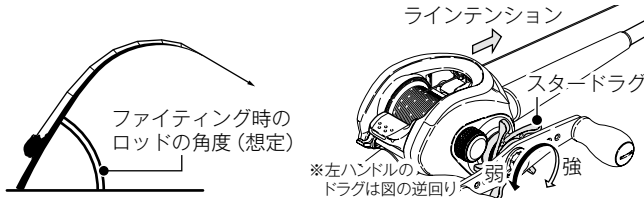
ハンドル側から見て、時計回りに（レフトハンドルは反時計回りに）回すことでドラッグが締まります。



**■ドラッグの調整方法**

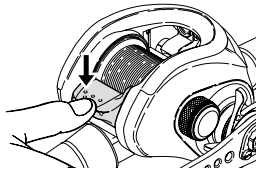
ドラッグとは、その強弱を調整することにより、激激な魚の引きに対し、スプールの逆転して糸切れ（ラインブレイク）を防ぐ機構です。又、その逆転時に発生する抵抗値をドラッグ力と言います。

1. 実際に使用される竿にリールをセットし糸をガイドに通してください。
2. クラッチを“ON”の状態にして、想定されるファイティング時のロッドの角度を保って、図のように糸を引き出しながらスタードラッグの締め付けを調節してください。その際、出来るだけ実際の状況に近づける為、対象とする魚の泳ぐスピードを想定して糸を引き出してください。



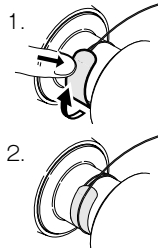
**■クラッチ操作方法**

親指でクラッチレバーを下に押すとクラッチが切れ、スプールはフリーの状態になります。カチッと音がするまで確実にクラッチレバーを押してクラッチを切ってください。



**■スプールへの糸止め方法（糸を巻く時）**

1. スプールにラインを結び、その結び目の上に市販のテープ等をピッタリと確実に貼ります。（指などで強く押しください。）
2. シールが確実に貼られていることを確認してラインを巻き込みます。（最初は少しゆっくりと巻くようにします。）
3. 特に PE ラインは滑り易く、伸びがないのでナイロンラインなどよりも強いテンションをかけてきっちりと巻くことが必要です。

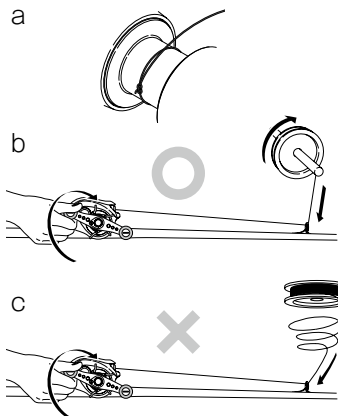


**■スプールに糸を巻かれる時の注意点**

PE ラインを巻かれる際には、必ず滑り止めになる様な物をスプールに巻いてからご使用ください。そのまま巻かれますと、スプールに巻いた糸が空転し、糸が巻き取れなくなる可能性があります。

**■糸の巻き方**

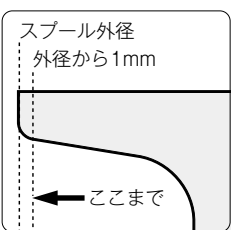
1. ドラッグを強く締め込みます。
2. リールを竿にセットします。
3. 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。（図 a）
4. 糸が巻かれているポビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通します。
5. そのポビンと軸を誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけて、ポビンを回転させながら糸を巻き取るようにして下さい。（図 b）図 c のようにならないようご注意ください。



尚、PE ラインを巻かれる時は、事前に PE ラインを十分に湿らせてください。巻き上げ時に発生する熱（抵抗熱）によって PE ラインが劣化するのを防ぐためです。

**●推奨糸巻量**

糸巻量はスプール外径から 1mm の位置まで巻くことをおすすめします。



**■キャスト方法**

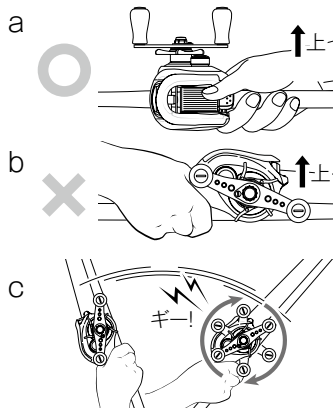
**●正しい握り方**

ハンドルを上向き（もしくは下向き）にして握ります。（図 a）

下記の握り方でキャストされますと、クラッチ返りが起こりやすくなりますのでお避けください。

ハンドルの横向きにしてしまうと…（図 b）

キャストの衝撃でハンドルが回転しクラッチが返ってしまいます。（図 c）



**■より快適にデジタルコントロールブレーキを使用して頂く為の注意点**

**●糸巻き量、スプール回転数**

ブレーキセッティングはフルライン（スプールの 95% 糸巻き量）の状態を前提に作られています。これより糸巻き量が少ない場合は、スプールの回転数が上がりやすくなるため、ブレーキが強効きすぎる場合があります。糸巻き時には、スプールのテーパ面のエッジ（左記 ●推奨糸巻量 図参照）に合わせた糸巻き量でご使用ください。

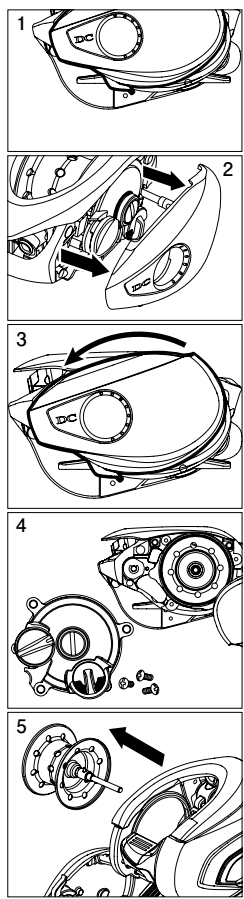
**■スプール着脱方法**

レバーを矢印の OPEN 方向に切替え、サイドプレートを下側へ回転することで開くことができます。釣りに使用されるときや持ち運びの時は、レバーを OPEN と反対方向に切替え、サイドプレートが回転しない状態で使用してください。※ライトハンドルのイラストで説明しています。

**●サイドプレートの開け方**

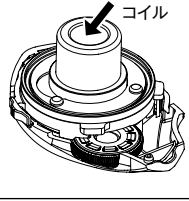
1. レバーを矢印の方向にスライドしてください。
2. 本体 B を引き出してください。
3. 本体 B を矢印の方向に回転してください。
4. デジタルコントロールブレーキユニット（本体枠 B 受）を外します。
5. スプールを抜き取ります。

※本体 B 受けを外した状態で開口部を下に向けますと、スプールが脱落し、変形する恐れがありますのでご注意ください。



**分解時のご注意**

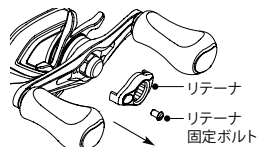
- ・電子部品は、全て DC ブレーキユニット（本体枠 B 受）の内部に取り付けられています。
- ・本体枠 B 受に装着されているコイル（右図）に力を加えないようご注意ください。変形するとトラブルの原因になります。



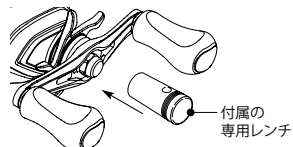
**■ハンドル着脱時のご注意**

ハンドルの着脱をされる場合は次の手順で行ってください。※ライトハンドルのイラストで説明しています。

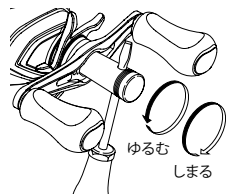
1. リテーナ固定ボルトを緩めてリテーナを取り外します。



2. 付属の専用レンチをナットに差し込んでください。



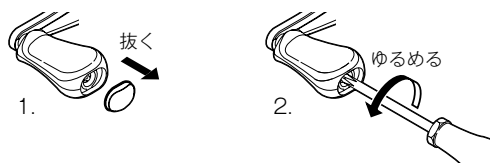
3. 図のように専用レンチの穴にドライバーを差し込み、ナットを緩めてハンドルを取り外します



※取り付け時は逆の順番で行ってください。※レフトハンドルは回転方向が下図の逆（逆ネジ）となりますのでご注意ください。

**■ハンドルノブの取り外し方（バドル型）**

1. キャップを取り外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。



**■夢屋パーツ取り付け可能**

**《夢屋タイプ》**

ハンドル	ハンドルノブ
BH-1	A

※詳細はシマノホームページにてご確認ください。

**お手入れ方法**

特に海水・汽水域でリールをご使用された後は、錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で釣行後にメンテナンスを行うことをお勧めします。

**① 必ず竿から外してください。**

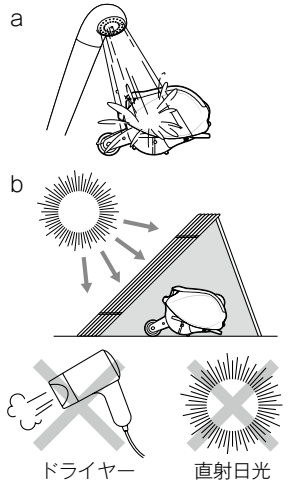
使用後は、必ず竿から取り外して、真水で水洗いしてから保管ください。例え、水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕する恐れがあります。

**② 水洗いしてください。**

ドラッグをしめ込んでから、ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしながら、シャワー等の真水で、1～2 分間水洗いしてください。（図 a）

スプールを取り外し、スプールのみを水洗いしていただくことさらに効果があります。スプールに水分や汚れが残ったままリールに組むと、スプールフリーが悪くなりますので、必ずふき取ってから組み込んでください。

※温水はグリスを洗い流す可能性があるのをお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。



**③ 乾燥させてください。**

ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしてよく水を切った後、ドラッグをゆるめ、直射日光を避けて陰干ししてください。（図 b）※直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。※隙間に残った塩分や錆による固着を防ぐため、乾燥中は 1 日に 1 度はハンドルやクラッチ等、作動部を動かしてください。

**④ 注油してください。**

グリス、オイルは弊社純正品（下記参照）をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。

SP-003H（メンテスプレーセット）	¥1,900
SP-013A（オイルスプレー）	¥1,050
SP-023A（グリススプレー）	¥1,100
SP-015L（ザルスリールオイルスプレー）	¥1,500

※最寄りの販売店にてお問い合わせください。上記は2015年12月現在の品番及び税抜本体価格です。

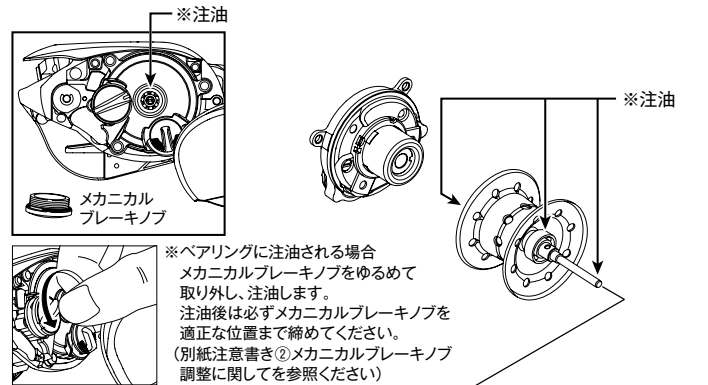
**《注油上のご注意》**

リールオイル、グリスがハンドルノブに付着したまま長期間放置すると、ハンドルノブが膨潤する場合がありますので、付着した場合はウエスやティッシュペーパー等で必ずふき取ってください。

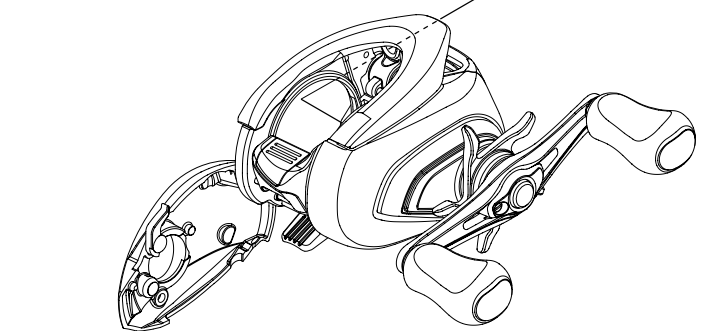
図の注油箇所にはリールに付属の専用オイル、またはシマノリールオイルスプレーをまがええないように噴霧してください。（シマノ以外のオイルは使用しないでください。）オイルはごく少量で充分です。特にベアリング部分は、あふれるようであればティッシュペーパー等で吸い取っておいてください。ドラッグ部にはオイルは注さないでください。

※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。

**●注油箇所**



※ベアリングに注油される場合メカニカルブレーキノブをゆるめて取り外し、注油します。注油後は必ずメカニカルブレーキノブを適正な位置まで締めてください。（別紙注意書き②メカニカルブレーキノブ調整に関してを参照ください）



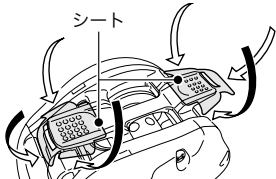
**⑤ 保管上のご注意**

保管の際は必ず竿から取り外してください。また、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間（自動車のトランク、ダッシュボード等）に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。

※キャスト時のクラッチ返りは、車でいえばクラッチを切らずにギアをつなぐ様なもの。最悪ギアの破損の恐れもあります。絶対にお避けください。  
 ※キャスト中にハンドルでクラッチを返さないでください。ギアの破損につながる恐れがあります。ルアーが着水してからクラッチを返してください。  
 ※標準装備のハンドルより長いハンドルや、重い（大きい）ハンドルノブを取り付けると、キャスト時のクラッチ返りが起こりやすくなりますのでご注意ください。

**■リール脚保護シートの使用方法**

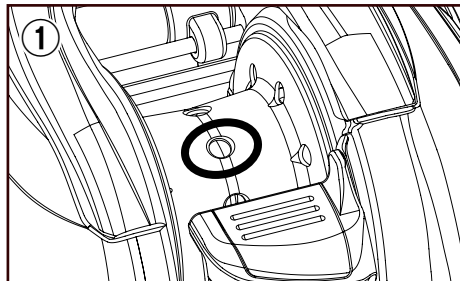
このリールを装着する竿のリールシートが金属製の場合、付属のリール脚保護シートを装着していただくことをおすすめします。リールシートとの干渉による特殊表面処理層の損傷を和らげ、耐蝕性を維持する効果があります。



## アンタレスDC使用上のご注意

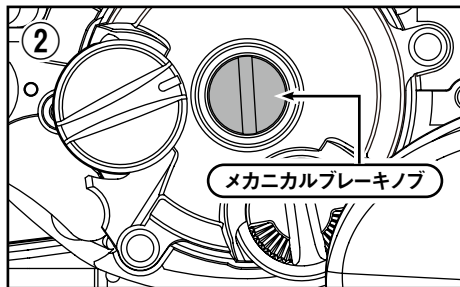
### ① スプールブランキング穴に糸を通さないでください

糸と本体B基板組みとの接触によるスプール回転不具合や、異音につながります。



### ② メカニカルブレーキノブ調整に関して

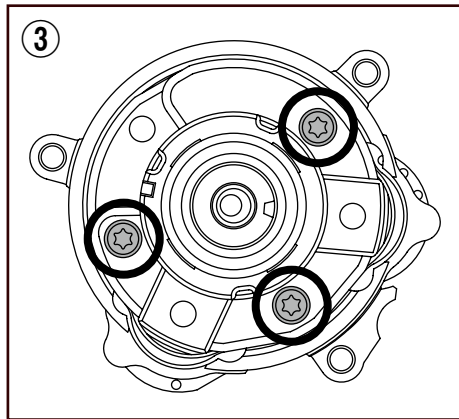
メカニカルブレーキノブはフレームB受に付いています。本体Bをオープンすることで操作できます。スプールの横方向のガタつきは0か僅かに残る程度でスプールがフリーで回転するように調整してください。(ガタが大きい場合は糸巻き形状の悪化、本体Bが締まらない等の機能不具合が生じます。)メカニカルブレーキは締めても問題はありませんが、DCブレーキの機能が十分発揮できなくなります。出荷時はメカニカルブレーキはベストな位置に調整済です。



### ③ 本体B基板組みの分解に関して

基板固定ボルト3本は絶対に分解しないでください。分解後の機能保証はいたしかねます。

②のメカニカルブレーキノブを外せば、分解することなく、ベアリングが交換できます。



## アンタレスDC取扱説明書訂正紙

アンタレス DC 取扱説明書に間違いがございました。正しくは下記のようになります。

■ 標準付属品の糸止めシールを削除、専用レンチを追加。

**誤** ●標準付属品 取扱説明書・分解図・オイル・専用リール袋・脚裏保護シート・糸止めシール

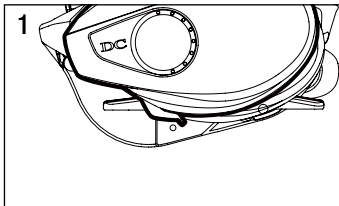


**正** ●標準付属品 取扱説明書・分解図・オイル・専用リール袋・脚裏保護シート・専用レンチ

■ サイドプレートの開け方の

1. レバーを矢印の方向にスライドしてください。の図の訂正。

**誤**



**正**

